



日本共産党市議会議員 中野あきと・事務所ニュース

# みどりと清流

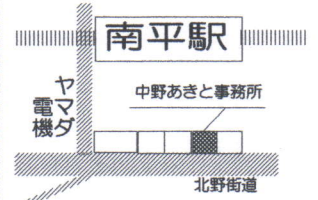
中野あきと事務所 第111号  
〒191-0041 日野市南平7-6-72  
TEL・FAX 042-599-3350 2011年  
発行責任者 小林 進 6月発行

http://www.ab.cyberhome.ne.jp/~nakanohp/

しん 赤旗 ぶん

日刊紙1ヶ月 2900円  
日曜版1ヶ月 800円  
お申し込み 党南多摩事務所  
TEL 042-374-4384  
または中野事務所へ

法律・生活相談など  
お気軽にお立ち寄り下さい



## 被災地ボランティアに参加して いっそう必要なこれからの救援活動 中野あきと

### 想像をこえた被災地の事態

5月の連休明け日本共産党日野市議団は、宮城県石巻市の東日本大震災共同支援センター（共産党や民主医療連合などが参加）に、お米や野菜などの救援物資を届けると共に、ボランティア活動に参加してきました。

まず、センターで言われたことは、被災地を見てほしいということでした。

被災地の映像は毎日テレビ画面でも放映されています。しかし、実際の光景は、限られた画面で伝え切れるようなものではありませんでした。

た。広大な面積に延々と連なる瓦礫の被災地。被災者の方々には申し訳ない気持ちですが、一面に漂う臭気には本当に参りました。

早くお手伝いをとはやっていたのですが、まず現状を見てほしいという現地の人たちの気持ちばかりでした。想像を絶する事態が三ヶ月も、そしてこれからも続くようになっているのです。このきびしい現実をしつかり受け止めなくてはとおもいました。

初日の午後と二日目、三日目は、主に、全国から送られてきたお米や野菜、食料品などの救援物資を軽トラックで地域に届けたり、大規模な駐車場を借りて救援物資を配る「あおぞら市」などの活動を行いました。「市」を開くことのお知らせは、宣伝カーによる直前のアナウンスなどに限られていたにも関わらず、二日間とも1000名を超す人がぞくぞくと集まり、あつという間に救援物資はなくなりました。特にお米や野菜などの食料品、トイレットペーパーや紙おむつ等の日用品などが圧倒的に不足していると感じました。

冠水した家屋にたまった「泥上げ」作業も行いました。大変な重労働ですが、たくさんのお米が冠水しており、「泥上げ」作業の人手も足りないという状況です。

目の当たりにした被災地の光景や被災者の方々の窮状は、私の想像を遥かに超えるたいへんなものでした。現地では、来る日も来る日も必死の救援、復旧の活動が続けられています。三人の石巻市の党市議も、文字通り不休の活動を続けています。簡単に言葉では言い表すことができない思いを抱えながら帰宅の途につきました。

一緒にボランティアに参加しませんか  
私も6月議会が終わったら、また参加する予定です。  
お問い合わせは、私の事務所まで



あおぞら市・救援物資を届ける

### 短信

ようやく鮎釣りの季節がやってきた。この時期は天候に敏感になる。大雨だと川が増水して釣りができなくなる。7月、8月になって暑くて濁水になると、このポイントなら確実に釣れるはずだと思っても、まったく釣れない、いわゆる「土用隠れ」になる▼昔は情報が少なかったから、現地に行つて初めて川の状態がわかったが、今はインターネットでホームページやライブカメラでリアルタイムの川を見ることが出来る。当然、人の集散が激しくなる。良くなるとの噂がどうも▼今年山梨県の葛野川（かずのがわ）へ出かけた。水が驚くほど冷たい。困（おとり）を送り出し目印を追うと、シーズン始まりの気分が盛りあがる▼そういうえば、この上流に東電の揚水発電所があるな、と思いだした。原発は出力調整が難しいので、夜間使用電力が下がった時は揚水発電所の水を上部のダムへ汲み上げ、定出力運転を継続する仕組みをつくっている。揚水発電所と原発は対であるとも言われている▼趣味の釣りも原子力と無縁ではないのだと、現実の世界に引き戻される。「ところで釣果は？」には「水が冷たすぎた」とを答へしよう。(H)